

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)への取り組みは、未来への投資です

ワーク・ライフ・バランスとは

人それぞれの希望に応じて、「仕事」と子育てや親の介護、地域活動などの「仕事以外の生活」の調和が図れる状態をいいます。

望ましいバランスは、人によって違い、生活環境、年齢といったライフステージによっても変化します。

ワーク・ライフ・バランスが実現すれば、個人の充実と成長、企業の持続的発展につながり、社会全体にも活力が生まれます。

企業の成功事例

ある企業(K製造業、従業員数31名)では、ワーク・ライフ・バランスに配慮し、社員を多機能工として育成、両立支援制度の充実、職場内ヒアリングの実施などの取り組みを行い、従業員の士気が向上したことにより、不良品の比率が劇的に減少しました。

※下図の、ワーク・ライフ・バランス実現の概略図を参照してください。

2月12日(金)開催

ワーク・ライフ・バランス講演会 参加者募集

開催日 2月12日(金)

第1回講演 午前10時30分～正午

第2回講演 午後1時30分～3時

場所 市役所3階大会議室

講演会

テーマ 「ワーク・ライフ・バランスで自身も職場もパワーアップ」

講師 渥美由喜(東レ経営研究所)

内容 職場、家庭、地域の中で、多様な働き方や生き方を選択できるワーク・ライフ・バランスについて、自身の経験を踏まえ、分かりやすくお話ししてくれます。

対象 どなたでも ※入場無料です。

申込方法 電話、FAX またはメールで申し込みください。

申込締切 2月8日(月)※当日は、自由参加できますが、資料作成の都合上、あらかじめご連絡ください。

申込先 政策形成課 企画担当 FAX(45)5005

Eメール kikaku1@city.tsuru.lg.jp

【講師紹介】



渥美由喜

コンサルタント・アドバイザーとして、実際にワーク・ライフ・バランスに取り組む企業・自治体などへのアドバイス・講演を行っています。一昨年、自らも育児休業を取得し、子育てや地域活動に奮闘中です。

ワーク・ライフ・バランス実現の概略図

生活に不安があると、仕事に全力投球できなくなったり職場環境が十分でないと、生活に影響を及ぼしたりすることがあります。



働き方の見直し

こうした不安を軽減するため、企業はワークライフバランスを導入し、社員が仕事に集中できる環境を提供し、社員は能力を最大限に発揮するよう努力します。



仕事以外の生活(家庭生活、自己啓発、地域活動など)の充実

仕事以外の生活の充実が、個人の成長につながり、個人の成長は、その企業の活力と発展を促します。

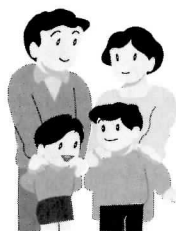


職場環境の整備は、従業員の意欲アップ＝明日への投資となります!!

第13回都留市男女共同参画推進フェスティバル開催

「認め合い、支え合い、共に育てよう参画の心」

いじめ、不登校、学習障害など、社会の複雑化とともに、子どもたちを取り巻く問題がますます深刻化しています。誰もがいきいきと暮らせる男女共同参画社会を次世代に確実につなぐため、私たちは子どもたちをどう育成していったら良いのでしょうか。



今回のフェスティバルは、家庭での子育てをはじめ、地域での子どもたちの育成について、育てる側の意識や心のあり方をテーマに開催します。

日時 3月13日(土)午後1時～
会場 ぴゅあ富士 大研修室(3階)

①講演

講師に家庭カウンセラーである宮本まき子さんをお招きして「子どもに対する親や家族、地域のあり方」について、経験豊かなカウンセラーの立場でお話していただきます。

②読み聞かせの会「こぶたの会」の紹介

③協働のまちづくり事業紹介

申込・問合先 政策形成課 企画担当

※入場無料(どなたでも参加できます)

※託児を希望される方は3月1日(月)

までに電話またはEメールでご連絡ください。

Eメール seisakukeisei@city.tsuru.lg.jp